

令和4年度 第2期草津市スポーツ推進計画の点検・評価

資料1-1

基本方針1	子どもの体力向上とスポーツ活動の推進
-------	--------------------

目標	新体力テストの成績		目標値(R7)	男女とも全国平均点を上回る	
現状値(R1)	R3	R4	R5	R6	R7
小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生
男子 54.68点	男子 52.14点	男子 51.70点	男子	男子	男子
全国 53.61点	全国 52.52点	全国 52.29点	全国	全国	全国
女子 55.50点	女子 53.21点	女子 53.14点	女子	女子	女子
全国 55.59点	全国 54.64点	全国 54.32点	全国	全国	全国

目標	運動・スポーツが好きな子どもの割合		目標値(R7)	男女とも全国平均割合を上回る	
現状値(R1)	R3	R4	R5	R6	R7
小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生	小学5年生
男子 69.3%	男子 68.3%	男子 65.8%	男子	男子	男子
全国 71.2%	全国 67.2%	全国 69.8%	全国	全国	全国
女子 52.7%	女子 49.0%	女子 51.3%	女子	女子	女子
全国 55.5%	全国 53.1%	全国 55.0%	全国	全国	全国

成果・課題	
立命館大学スポーツ健康科学部と協働で取り組む「小・中学校体力向上プロジェクト」において、主に小学校では体育授業のはじめの数分間で取り組める「短時間運動プログラム(草津市チャレンジタイム)」を実施するとともに、授業の質を高めるため「小学校体育草津モデル」を作成・周知し、体力向上の取組を継続してきた。しかし、今年度の小学生の成績は、昨年度に引き続き、県の平均は上回っているものの、全国の平均点には届かなかった。 また、運動が好きな子どもの割合について、男女ともに全国平均に届かなかった。運動の好き嫌いとは体力合計得点には相関関係があるといわれていることから、体力の向上及び運動好きの子どもを増やすため、現在の取組について見直し、改善を行いながら継続するとともに、目標達成できるよう新たな取組について検討していく必要がある。	
今後の取組	
「小・中学校体力向上プロジェクト」において「草津市チャレンジタイム」の継続実施や「小学校体育草津モデル」のさらなる充実・周知を進める等事業内容を充実・改善していくとともに、低・中学年から運動に親しむことができるように、授業以外での運動の機会等について調査・研究を進める。	

令和4年度 第2期草津市スポーツ推進計画の点検・評価

資料1-1

基本方針2	生涯スポーツ活動の推進
-------	-------------

目標	週1回30分以上のスポーツ実施率		目標値(R7)	全 体:65%以上 年齢階層別:60歳代以下 65.0% 70歳代以上 現状維持							
単位: %											
現状値(R1)		R3		R4		R5	R6		R7		
全 体 56.0%		全 体 59.6%		全 体 57.3%		全 体		全 体		全 体	
(年齢階層別)		(年齢階層別)		(年齢階層別)		(年齢階層別)		(年齢階層別)		(年齢階層別)	
20歳代 52.9%		20歳代 62.2%		20歳代 67.8%		20歳代		20歳代		20歳代	
30歳代 44.2%		30歳代 45.7%		30歳代 47.0%		30歳代		30歳代		30歳代	
40歳代 52.5%		40歳代 54.7%		40歳代 47.5%		40歳代		40歳代		40歳代	
50歳代 53.2%		50歳代 52.2%		50歳代 56.8%		50歳代		50歳代		50歳代	
60歳代 58.5%		60歳代 58.3%		60歳代 58.3%		60歳代		60歳代		60歳代	
70歳代 71.1%		70歳代 77.9%		70歳代 68.2%		70歳代		70歳代		70歳代	
80歳代以上 55.7%		80歳代以上 62.6%		80歳代以上 61.1%		80歳代以上		80歳代以上		80歳代以上	

成果・課題
新型コロナウイルス感染症の影響により、広く市民が参加することのできる大半のスポーツイベントを開催できていなかったが、20代、30代のスポーツ実施率は昨年に引き続き改善した。40代は減少したものの、50代、60代も改善しており、働き世代のスポーツ実施率は上昇傾向にある。 一方で、これまで高いスポーツ実施率であった70代以上の実施率が減少に転じており、運動習慣がない高齢者の増加が懸念される。
今後の取組
働き世代については前年度と比較して改善しているものの、目標を下回っており、引き続き運動習慣を身に着けるきっかけづくりのため、イベントに参加しやすい工夫を行う必要がある。 また、高齢者についても引き続き運動を続けていただけるよう、高齢者に関心の高い種目を行うイベントの実施等にも取り組むとともに、高齢部門等との連携を図っていく必要がある。

令和4年度 第2期草津市スポーツ推進計画の点検・評価

資料1-1

基本方針3	競技スポーツの推進
-------	-----------

目標	滋賀県民体育大会の総合得点		目標値(R7)	65.00点 (県3位)	
現状値(R1)	R3	R4	R5	R6	R7
57.83点 (県5位)	36.00 ※4位	57.66 ※県5位			

目標	全国大会の出場件数		目標値(R7)	100件 (600名)	
現状値(R1)	R3	R4	R5	R6	R7
89件 (508名)	89件 (382名)	79件 (446名)			

成果・課題
公益社団法人草津市スポーツ協会の運営や活動を支援し、人員体制の強化に取り組んだ。また、スポーツ協会、各競技団体、指定管理者と連携しプロスポーツ選手と連携したスポーツ教室や子ども向け体験教室を実施するなど、関係者と連携した取組を進めた。 滋賀県民体育大会における草津市の総合得点は、結果として16郡市中5位で令和元年度から現状維持となっていることから、引き続き競技力の向上を図っていく必要がある。 また、コロナ禍における感染症対策を講じたスポーツ大会が開催されるようになり、激励金の交付を通じて、競技に取り組む選手の励みの一つとした。各種大会に参加される種目も幅広く、交付対象となる大会の拡大等を望む意見があることから、今後のスポーツ情勢の変化に的確に対応していく必要がある。
今後の取組
市内の競技団体の活発な活動の促進に向けて、引き続き、公益社団法人草津市スポーツ協会の運営や活動を支援し、さらなる運営体制の強化に努める。 また、競技力の向上に向けて、指導者の確保・育成ならびに選手の発掘・育成を一層推し進めていくために草津市スポーツ協会を中心として市内の競技団体や滋賀県スポーツ協会などの関係団体と一層の情報共有や連携に取り組むことが重要となる。引き続き、広報くさつ等、広く市民に制度の周知に取り組むとともに、激励金の交付を通じて、競技に取り組む選手の励みの一つとする。

令和4年度 第2期草津市スポーツ推進計画の点検・評価

資料1-1

基本方針4	スポーツ環境の充実
-------	-----------

目標	社会体育施設等の利用者満足度		目標値(R7)	4.00ポイント (5ポイント満点)	
現状値(R1)	R3	R4	R5	R6	R7
3.61ポイント	3.66ポイント	3.59ポイント			

目標	社会体育施設等の利用者数		目標値(R7)	800, 000人	
現状値(R1)	R3	R4	R5	R6	R7
682,171人	491,010人	670,758人			

成果・課題
利用者のニーズを把握するため、手続方法、利用した感想、職員の対応、今後の利用の意思の4項目について利用者アンケートを実施し、平成29年度よりインターネットアンケートを行うなど数多くの意見聴取に努めた。特に、利用者アンケートの職員の対応やマナーについての項目において不満やほぼ不満が非常に少ないが、ポイントとしては令和元年度と比較し0.02ポイント微減した。 社会体育施設等の利用者数については、総合体育館屋根・床の大規模改修工事などがある中、他施設の休館日の臨時開館も行ったものの、利用者数としては伸び悩んだ。 今後も指定管理者と連携し、引き続き利用者の満足度の向上に取り組むとともに、適切な施設の維持管理に努め、快適なスポーツ環境の充実に努めることで、利用者の継続利用に繋げるとともに、スポーツ人口を増やす取組を推し進める必要がある。
今後の取組
今後も老朽化への対応等、各施設の改修工事など、快適にスポーツができる環境を整えるとともに、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向け、着実にハード整備を進めていくことが必要である。 また、施設利用にあたってはインターネット予約の検討、施設・備品の更新など、快適な施設利用に向けた改善を進めることで、利用者の継続利用に繋げるとともに、コロナ禍にも対応した大会やイベント等の誘致により、スポーツ人口を増やす取組を推し進める必要がある。

令和4年度 第2期草津市スポーツ推進計画の点検・評価

資料1-1

基本方針5	スポーツによるまちの活性化
-------	---------------

目標	広域的なスポーツイベントの参加者数		目標値(R7)	30, 000人	
現状値(R1)	R3	R4	R5	R6	R7
22,450人	7,683人	27,705人			

目標	国スポ・障スポ参加者数 (選手、監督、大会関係者、観戦者)		目標値(R7)	50, 000人	
現状値(R1)	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	-	-	-	

成果・課題
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け一部のイベント等が中止になったものの、参加者数は大きく伸び、着実に目標に近づくことができている。今後も引き続き、指定管理者と連携しながら、大会やイベント等の誘致を図り、VリーグやBリーグといったプロスポーツの観戦機会の充実等に取り組み、スポーツへの関心を高められるよう努める。
今後の取組
国スポ・障スポ等の大規模イベントを控え、盛り上がりを見せる市全体の機運をさらに高めるため、魅力的なプロスポーツの観戦機会や大規模大会等を継続的に誘致する必要があることから、各種団体との連携を強化するとともに、誘致に向けた取組が必要となる。また、「する」以外のスポーツへの関わり方として、「みる」「支える」「知る」といったそれぞれ自分にあった関わり方でスポーツに親しむことで、スポーツを通じた一体感と交流を促進し地域の活性化に努める。